

2021 年 3 月 期  
決 算 説 明 資 料

金沢信用金庫

## 【 目 次 】

2021年3月期決算の概況	1
1.総括	1
(1)損益の概要	
(2)自己資本比率(国内基準)	
(3)金融再生法開示債権	
2.損益状況	2
3.預金・貸出金等	3
(1)預金・貸出金（未残）	
(2)預り資産（未残）	
4.有価証券の評価損益	3
5.自己資本比率(国内基準)	4
6.開示不良債権	4
(1)金融再生法開示債権	
(2)金融再生法開示債権の保全状況	
7.2022年3月期業績予想	5

## 2021年3月期 決算の概況

2021年6月3日

信用金庫名 金沢信用金庫（理事長 忠田 秀敏）  
 本店所在地 金沢市南町1番1号  
 問合わせ先 責任者役職名 総合企画部長  
 氏 名 津田 一志 TEL(076)231-0147

通常総代会開催日 2021年6月17日

### 1. 2021年3月期の業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### （1）経営成績

（注）記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 (%)	百万円 (%)	百万円 (%)
2021年3月期	6,495 (17.4)	702 (41.2)	354 (69.6)
2020年3月期	7,871 (6.3)	1,195 (23.1)	1,166 (23.9)

	貸出金残高	預金残高
	百万円 (%)	百万円 (%)
2021年3月期	210,455 (2.4)	504,659 (4.1)
2020年3月期	215,810 (5.4)	484,368 (1.5)

（注）経常収益、経常利益、当期純利益、貸出金残高、預金残高におけるパーセント表示は、対前期増減率

#### （2）財政状態

	総資産	純資産
	百万円 (%)	百万円 (%)
2021年3月期	553,878 (7.6)	25,750 (4.4)
2020年3月期	514,671 (1.5)	24,645 (4.0)

（注）総資産、純資産におけるパーセント表示は、対前期増減率

#### （3）諸比率

	自己資本比率	不良債権比率
	%	%
2021年3月期	10.31	13.32
2020年3月期	9.16	13.16

（注）1.自己資本比率（国内基準）は、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に基づき算出しております。

2.不良債権比率（金融再生法）は、総与信に占める開示不良債権の割合であります。

### 2. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 (%)	百万円 (%)	百万円 (%)
2022年3月期	5,580 (14.0)	360 (48.7)	350 (1.1)

（注）経常収益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

## 2021年3月期決算の概況

## 1.総括

○ 損益は次の通りとなり、減収、減益となりました。

経常収益	6,495 百万円	(前期比 △1,376百万円)
コア業務純益	910 百万円	(前期比 △32百万円)
経常費用	5,792 百万円	(前期比 △883百万円)
経常利益	702 百万円	(前期比 △492百万円)
当期純利益	354 百万円	(前期比 △812百万円)

○ 自己資本比率(国内基準)は、前期末比1.15ポイント上昇して10.31%となりました。

○ 金融再生法開示債権は、前期末比382百万円減少して28,257百万円となりました。

## (1) 損益の概要

(単位:百万円)

	2021年3月期			2020年3月期
		2020年3月期比	増減率	
経常収益	6,495	△ 1,376	△17.4%	7,871
コア業務純益	910	△ 32	△3.4%	942
経常費用	5,792	△ 883	△13.2%	6,676
経常利益	702	△ 492	△41.2%	1,195
当期純利益	354	△ 812	△69.6%	1,166

## (2) 自己資本比率(国内基準)

(単位:%)

	2021年3月末		2020年3月末
		2020年3月末比	
自己資本比率	10.31	1.15PT	9.16

## (3) 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	2021年3月末		2020年3月末
		2020年3月末比	
金融再生法開示債権 (不良債権比率)	28,257 (13.32%)	△ 382 (0.16PT)	28,640 (13.16%)

## 2.損益状況

- 業務粗利益は、役務取引等利益が増加したものの、債券の売却益等によるその他業務利益や資金利益の減少により、前期比1,149百万円減少して4,952百万円となりました。
- 経費は、人件費、物件費ともに減少したこと等により、前期比541百万円減少して4,489百万円となりました。
- 本業の収益を示すコア業務純益は、経費が減少したものの、資金利益の減少等により、前期比32百万円減少して910百万円となりました。
- 経常利益は、上記の要因に起因して、前期比492百万円減少して702百万円となりました。
- これらの結果、当期純利益は前期比812百万円減少して354百万円となりました。

(単位:百万円)

	2021年3月期		2020年3月期
		2020年3月期比	
業務粗利益	4,952	△ 1,149	6,102
(除く国債等債券損益)	5,399	△ 573	5,973
資金利益	5,049	△ 621	5,671
役務取引等利益	363	8	354
その他業務利益	△ 461	△ 537	76
うち国債等債券損益	△ 446	△ 575	128
経費 (除く臨時処理分)	4,489	△ 541	5,030
うち人件費	2,384	△ 239	2,624
うち物件費	1,967	△ 296	2,263
<b>コア業務純益 (注1)</b>	<b>910</b>	<b>△ 32</b>	<b>942</b>
<b>投信解約益除くコア業務純益</b>	<b>745</b>	<b>22</b>	<b>722</b>
一般貸倒引当金繰入額 ①	-	-	-
業務純益	463	△ 607	1,071
臨時損益	238	114	123
うち株式関係損益	2	△ 75	77
うち不良債権処理額 ②(注2)	107	△ 37	144
うち貸倒引当金戻入益 ③(注2)	267	196	71
うち償却債権取立益 ④	109	△ 55	165
<b>経常利益</b>	<b>702</b>	<b>△ 492</b>	<b>1,195</b>
特別損益	△ 434	△ 417	△ 17
税引前当期純利益	267	△ 910	1,177
法人税、住民税及び事業税	9	△ 1	11
法人税等調整額	△ 96	△ 96	△ 0
<b>当期純利益</b>	<b>354</b>	<b>△ 812</b>	<b>1,166</b>

(実質不良債権処理額) ①+②-③-④	△ 269	△ 177	△ 92
---------------------	-------	-------	------

(注) 1.コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

2.一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

## 3.預金・貸出金等

- 貸出金は、事業性融資が増加したものの、住宅ローン等の個人向け融資と地公体向け融資が減少したこと等により、前期末比5,355百万円減少して210,455百万円となりました。
- 預金は、個人預金・法人預金がともに増加し、前期末比20,290百万円増加して504,659百万円となりました。
- 預り資産では、国債は前期末比554百万円増加して4,597百万円となりました。また、投資信託は前期末比432百万円減少して5,466百万円となり、保険は前期末比3,019百万円減少して24,348百万円となりました。

## (1)預金・貸出金（末残）

(単位:百万円)

	2021年3月末		2020年3月末
		2020年3月末比	
貸出金	210,455	△ 5,355	215,810
うち個人ローン	60,423	△ 4,108	64,531
うち住宅ローン	52,241	△ 2,810	55,051
預金	504,659	20,290	484,368
うち個人預金	393,496	10,767	382,729
うち法人預金	111,162	9,523	101,639

## (2)預り資産（末残）

(単位:百万円)

	2021年3月末		2020年3月末
		2020年3月末比	
国債	4,597	554	4,043
投資信託	5,466	△ 432	5,899
保険	24,348	△ 3,019	27,368

## 4.有価証券の評価損益

- 有価証券の評価損益は、前期末比825百万円増加して2,003百万円の評価益となりました。

## 評価損益

(単位:百万円)

	2021年3月末		2020年3月末
		2020年3月末比	
合計	2,003	825	1,177
株式	13	8	4
債券	598	△ 1,091	1,690
その他	1,391	1,908	△ 516

## 5.自己資本比率(国内基準)

- 自己資本の額は、前期末比257百万円増加して20,573百万円となりました。  
 リスクアセットは、前期末比22,396百万円減少して199,366百万円となりました。  
 この結果、自己資本比率は前期末比1.15ポイント上昇して10.31%となりました。

2021年3月末の開示内容(国内基準)

(単位:百万円)

		2021年3月末		2020年3月末
			2020年3月末比	
自己資本の額	a	20,573	257	20,315
リスクアセット	b	199,366	△ 22,396	221,763
自己資本比率	a/b	10.31%	(1.15PT)	9.16%

## 6.開示不良債権

- 金融再生法開示債権は、前期末比382百万円減少して28,257百万円となりました。  
 また、総与信に占める割合は、前期末比0.16ポイント上昇して13.32%となりました。  
 ○ 保全率は、前期末比0.17ポイント低下して83.36%となりました。

## (1)金融再生法開示債権

(単位:百万円)

		2021年3月末		2020年3月末
			2020年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		3,829	△ 753	4,582
危険債権		24,387	374	24,012
要管理債権		40	△ 4	44
金融再生法開示債権	a	28,257	△ 382	28,640
総与信残高	b	212,120	△ 5,450	217,570
総与信残高比合計	a/b	13.32%	(0.16PT)	13.16%

## (2)金融再生法開示債権の保全状況

(単位:百万円)

		2021年3月末		2020年3月末
			2020年3月末比	
金融再生法開示債権	a	28,257	△ 382	28,640
保全額	b	23,557	△ 366	23,923
貸倒引当金		8,842	△ 964	9,806
担保・保証		14,715	598	14,117
保全率	b/a	83.36%	(△0.17PT)	83.53%

(注) 貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

## 7.2022年3月期業績予想

- 経常収益は、5,580百万円を見込んでおります。
- コア業務純益は、510百万円を見込んでおります。
- 経常利益は、360百万円を見込んでおります。
- これらの結果、当期純利益は350百万円を見込んでおります。

通期(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:百万円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
経常収益	5,580	△ 915	6,495
コア業務純益	510	△ 400	910
経常利益	360	△ 342	702
当期純利益	350	△ 4	354